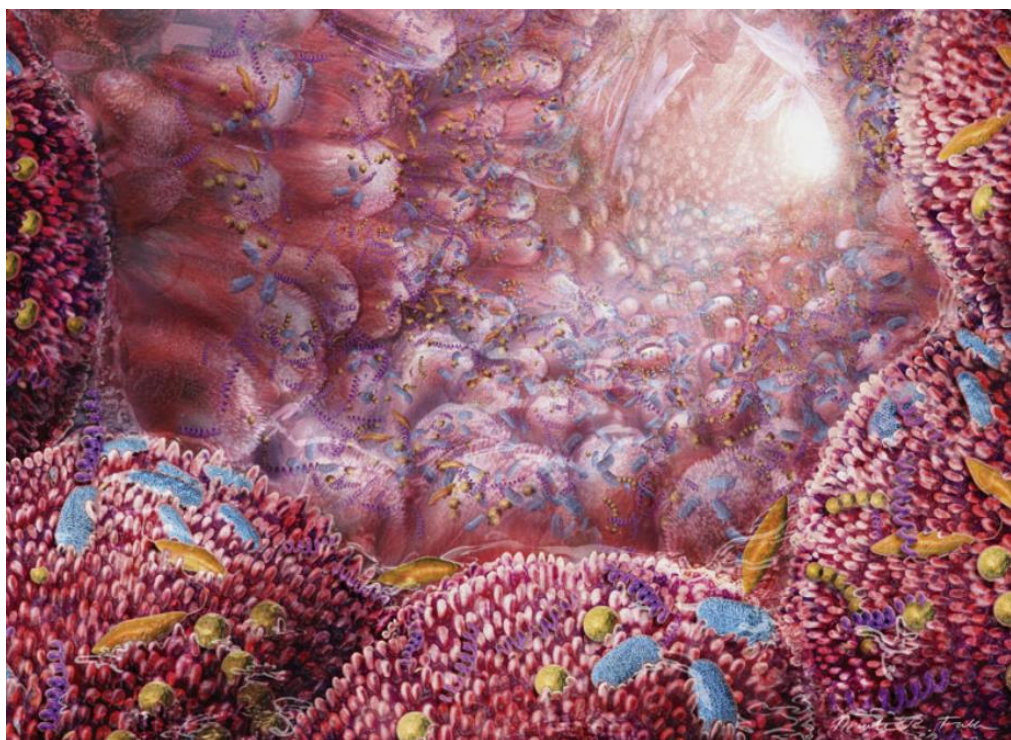
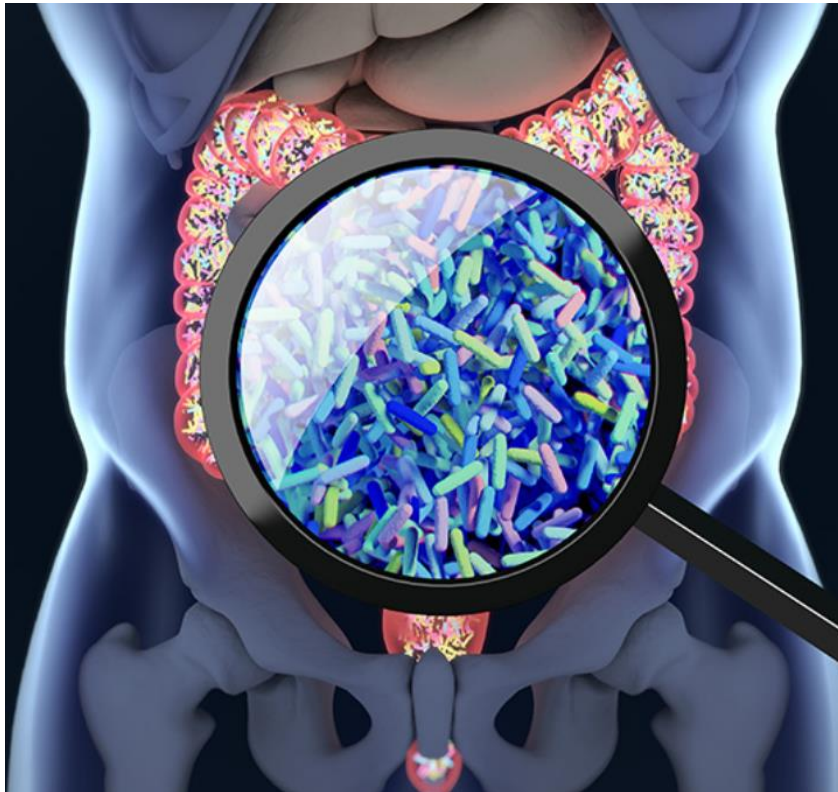


# 口腔細菌叢と大腸がんは大腸内 視鏡検査

アイルランドの Flemer らは、口内細菌叢と便中細菌叢プロファイリングの組み合わせにより、大腸がんを感度 76%、大腸ポリープを 88% で同定可能なことを医学雑誌「GUT」に発表しました。



また、高繊維食が *Lachnospiraceae* の豊富さをもたらし大腸がん予防的に働く可能性を示しました。



今後、口内細菌叢や便中細菌叢プロファイリングから大腸内視鏡検査を施行し、大腸がんを早期に発見できる可能性も考えられます。